

◆ 平成 27 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO法人 埼玉環境カウンセラー協会

代表者：会長 大熊幸雄

URL : <http://www.saieca.com>

1 活動が必要とされた状況

次世代のエネルギーとして、「水素」が脚光を浴びております。地球温暖化防止にいかに関与し、どのような課題や保安上の問題があるのか、専門家の皆さんから現状を伺いながら、一緒にこの問題を考えてみるものです。

2 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

① 第 32 回環境保全講習会

平成 27 年 9 月 26 日、埼玉会館において「水素社会？を知ろう」と題して講習会を開催し、56 名が参加した。

- 1) 「水素エネルギー社会の実現に向けての課題と展望」
早稲田大学環境・エネルギー研究科准教授 小野田 弘士 氏
- 2) 「埼玉県における水素の利用について」
埼玉県 環境部 環境政策課 主幹 山井 毅 氏
- 3) 「高圧ガス（水素）の保安対策について」
埼玉県 危機管理防災部 化学保安課 主幹 堀江 亨 氏
- 4) ディスカッション



② 家にある化学物質の使い方シリーズ 5

平成 27 年 5 月から 28 年 3 月まで、化学物質検討委員会を開催し、企画、構成、内容等を検討し、冊子「消臭剤 ～芳香消臭剤を中心に～」を完成した。

構成員 中村章（委員長）、大熊幸雄、星野弘志、片倉寛、小坂久仁子、堀中新一

3 活動の成果

水素エネルギーについて、過大な期待感を持つだけではなく、課題も考慮しつつ利用することが大切であると理解が深まった。ディスカッションでは多くの意見、質問が交わされた。

冊子「消臭剤 ～芳香消臭剤を中心に～」の発行により、正しい知識が普及され、テレビCMに誘因されずに使用されることが期待される。

4. 今後に残された課題

時宜に応じた先進的なテーマで、環境保全講習会を開催する。

漂白剤、衣類の防虫剤、スプレー缶、芳香剤、浴室で使う化学製品、消臭剤に続くシリーズ7について、企画、作成する。